

競技注意事項

1. 本大会は2018年日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用の注意

- ①ウォームアップは、サブ競技場を使用すること。練習場係の指示に従い事故のないよう使用すること。
- ②競技用シューズについては競技規則143条を適用する。
- ③トレーナー活動は本競技場室内走路とする。

3. 招集について

- ①招集所はスタート側第1ゲート入口に設ける。
- ②招集時間は、競技日程表による。
- ③競技者は招集完了時刻にナンバーカードの確認を受け、競技者係の誘導により競技場に入る。
- ④リレー競技に出場するチームは、その種目の招集完了時刻1時間前までに、用意されたオーダー用紙に走者順を記入し、第1ゲート外側招集所競技者係に提出する。
- ⑤招集時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。

4. 競技について

競技日程表に示される通り、午前9:00から南部普及種目、午後12:00から3カ国交流種目と南部一般種目を実施する(男子三段跳のみ10:30開始)。競技運営にあたっては競技日程に基づき通常の一大会運営として行う。

〔トラック競技〕

- ①競技はすべて決勝レースとする。GP・NonGPと3カ国陸上が重なる種目においては(3カ国6名+GP2~3名とGP8~9名の2組)の設定で行う場合がある。その場合の順位決定はそれぞれで行う(GP内はタイムレースとする)。
- ②100m・200m・110mHは風の条件によりバックストレートを使用する場合がある。その場合、選手への伝達は招集開始時間、招集場所とする。
- ③南部普及種目男女の3000mはグループスタートとする。

〔フィールド競技〕

- ①GP・NonGPと3カ国陸上が重なる種目である男女やり投、女子三段跳、男子走幅跳は同時に競技進行するがトップ8はそれぞれに行い順位を決定する。
- ②投擲競技は主催者が用意した用具を使用する。ただし、やり投については8日 9:30~10:00までに検査を受けたものについて、個人のものを使用できる(検査は器具室前)。
- ③女子走高跳、男子棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	以降
女子走高跳	1m60	1m65	1m70	1m75	1m78	3cmずつ上げる

種目	練習	1	2	3	4	5	6	以降
男子棒高跳	任意の高さ	5m00	5m20	5m30	5m40	5m50	5m60	10cmずつ上げる

5. ナンバーカードについて

- ①ナンバーカードは主催者が交付したものを使用し、配布された大きさでつけること。
- ②トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバーカード(招集所で競技者係より配布)をパンツの右横や後方につけること。

6. ドーピングコントロール検査について

本競技会ではドーピングコントロール検査を実施する。指示された競技者は競技役員の誘導で検査を受けなければならない。

7. その他

- ①競技を終了した選手は種目ごとにまとめてミックスゾーンに向かい指示を受ける。
その後インタビューは報道係の指示に従うこと。
- ②商標等について、競技者が競技場に商品名・製造業者名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」を遵守する。基準をこえた商標については、ガムテープ等を貼って隠す。
- ③トラック種目に関してスタート前に脱衣した衣類等は補助員が袋に入れフィニッシュ地点に運ぶので各自でフィニッシュ後、受け取る。
- ④競技者はビデオ、ミュージックプレイヤー、ラジオ、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むではない。
- ⑤競技中の事故等による応急処置は医師が行うが、その後の治療費等は本人負担とする。また、競技者保険等に各自加入しておくことが望ましい。
- ⑥貴重品の管理は各自の責任において行うものとする。
- ⑦やり・ポールの返送を希望する場合は返送受付業者に申し出る。時間・場所などは担当の係から案内する。
- ⑧記録結果、競技写真等の一部を北海道陸協HPに掲載します。

8. 表彰について

各種目3位までの競技者は競技終了後ミックスゾーン経由においてエントランスホールに集合すること。